



新光商事 株式
会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2014年3月期第2四半期決算説明会

- 第2四半期決算の概要
- 今後の施策
- 通期の見通し

2013年11月1日
代表取締役社長 小川 達哉

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・エレクトロニクス産業の業界動向・技術トレンド等の変化
- ・当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ドル等外国通貨の対円為替相場的大幅な変動

第2四半期決算短信の概要

2014年3月期第2四半期決算のポイント

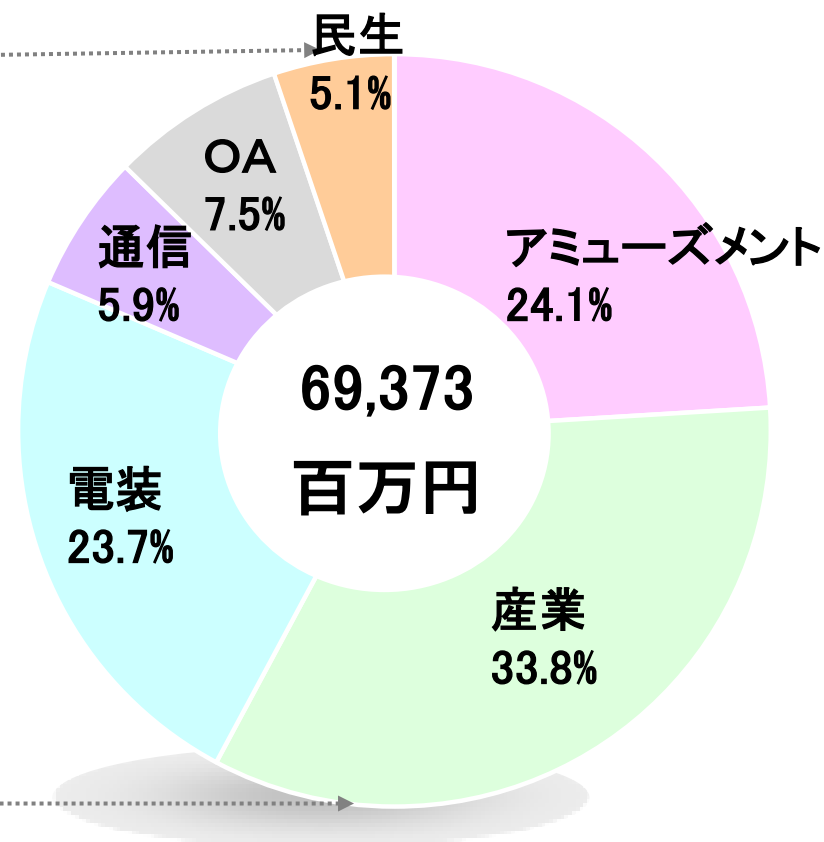
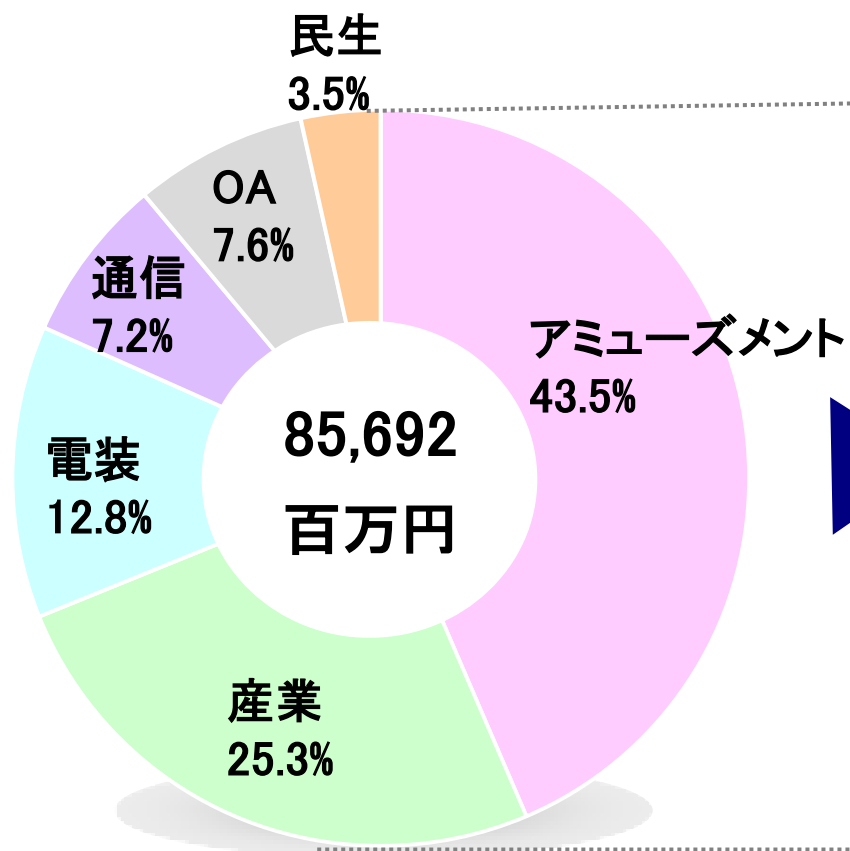
車載関連が北米・ASEAN市場の活況により好調に推移するも、娯楽機器関連は好調であった前年同期と比較して減収減益。

- 車載関連が好調に推移し、前年比で大幅な売上増。
- 産業関連は堅調に推移し、前年比で売上増。
- 娯楽機器関連は、リユースの促進に伴う新規部材減により、前年比で大幅な売上減。

分野別売上構成

【2013年3月期第2四半期】

【2014年3月期第2四半期】



(注) 決算短信のセグメントは電子部品事業、アッセンブリ事業、
その他事業の三種類(後述)。

第2四半期決算の概要

●前年度との比較

(百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減率
売上高	85,692	69,373	▲19.0%
売上総利益	6,491	5,776	▲11.0%
(売上総利益率)	(7.6%)	(8.3%)	
販管費	3,905	3,739	▲4.3%
営業利益	2,586	2,037	▲21.2%
経常利益	2,547	2,017	▲20.8%
第2四半期純利益	1,576	1,257	▲20.3%
1株当たり四半期純利益	64円32銭	52円99銭	▲17.6%

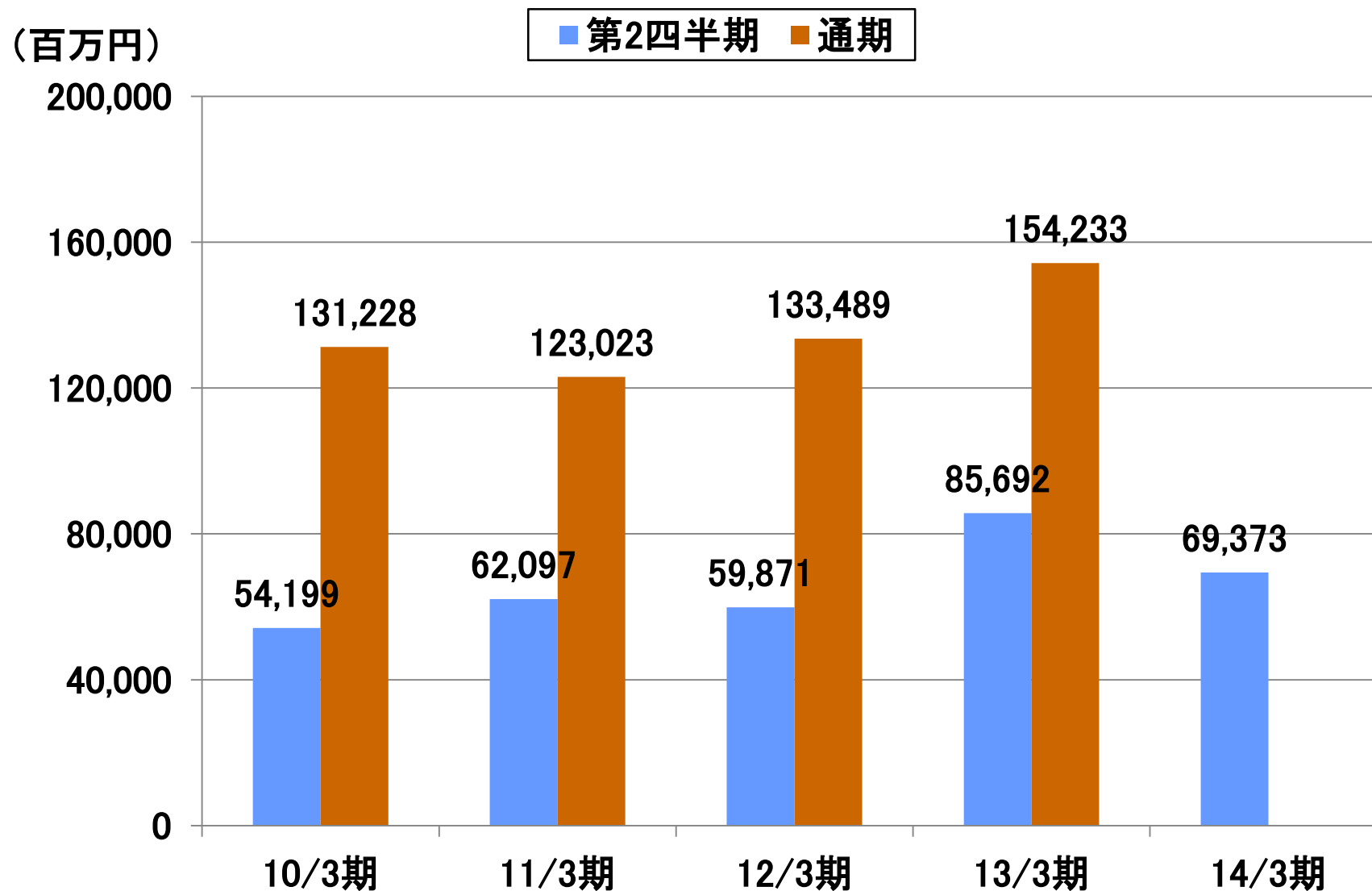
第2四半期決算の概要

● 期初予想との比較

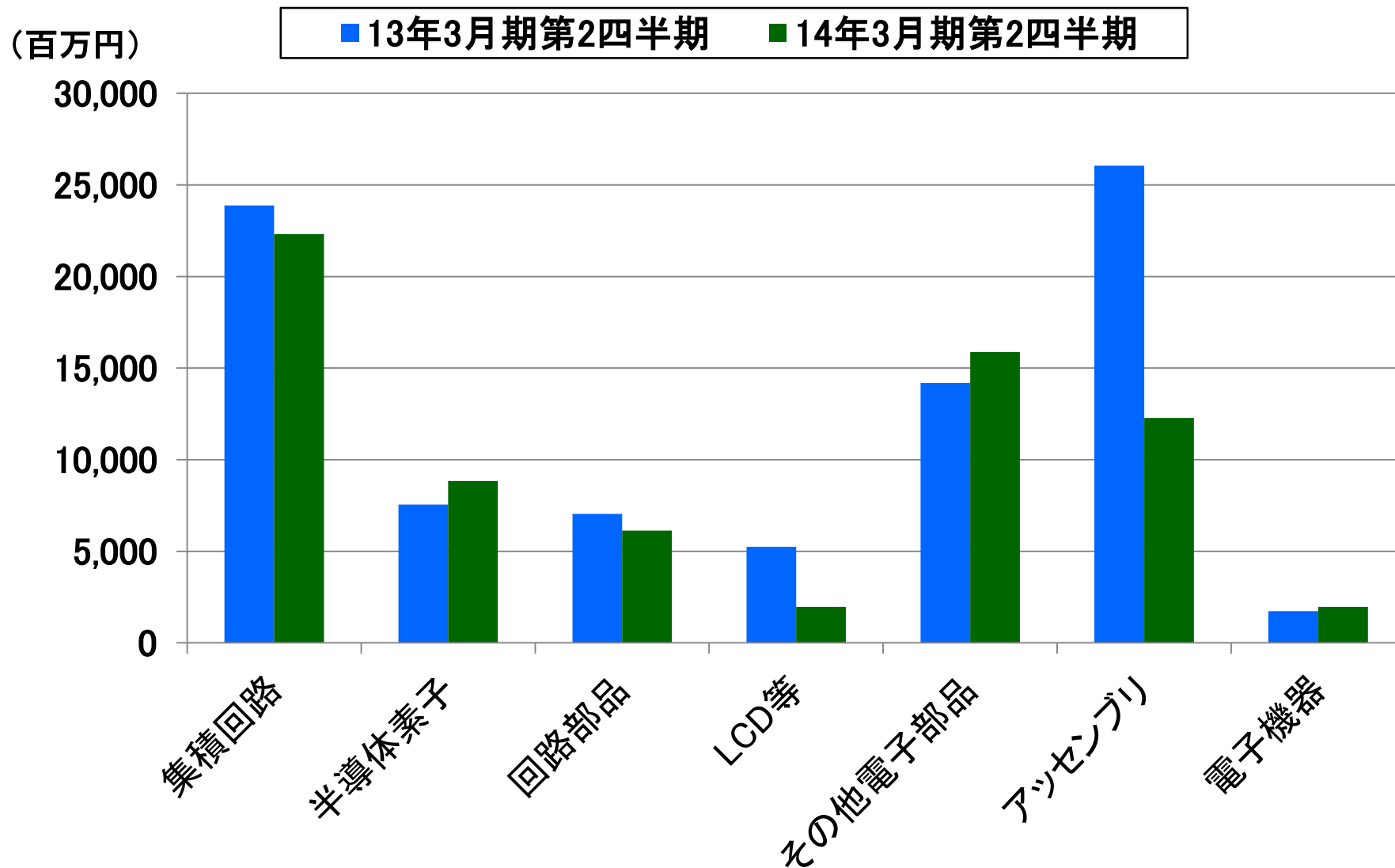
(百万円)

	2014年3月期 第2四半期 期初予想	2014年3月期 第2四半期 9/30上方修正	2014年3月期 第2四半期	増減額 (期初 予想比)	増減率 (期初 予想比)
売上高	63,000	67,500	69,373	6,373	10.2%
営業利益	1,400	1,650	2,037	637	45.5%
経常利益	1,400	1,700	2,017	617	44.1%
第2四半期純利益	900	1,050	1,257	357	28.4%
1株当たり 四半期純利益	36円81銭	44円26銭	52円99銭	16円18銭	44.0%

売上高推移

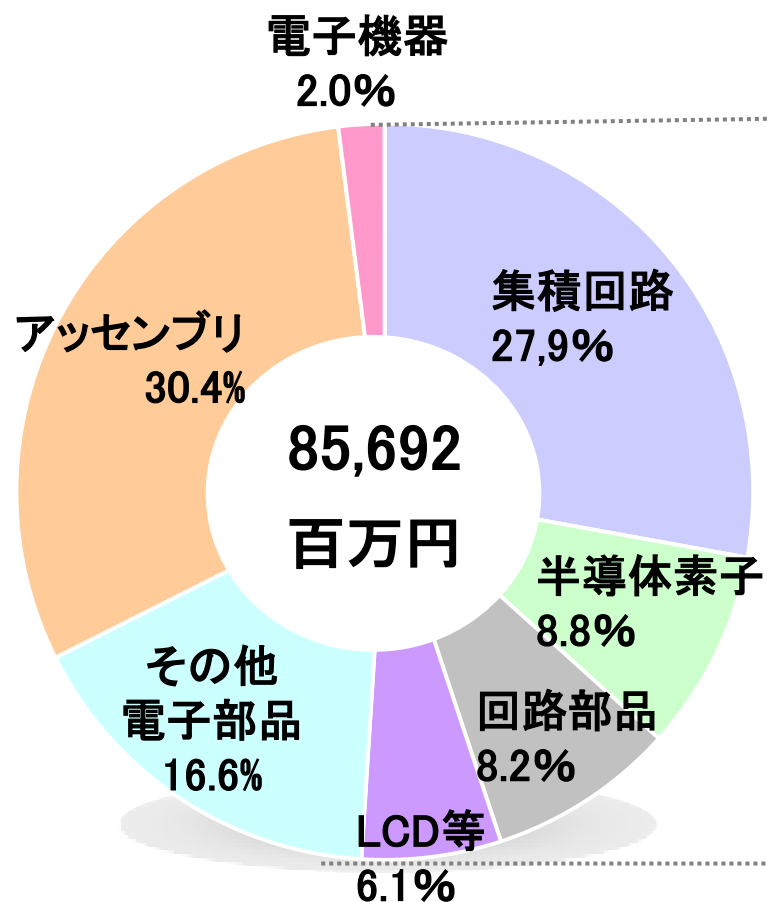


品種別売上高 前年同期比較

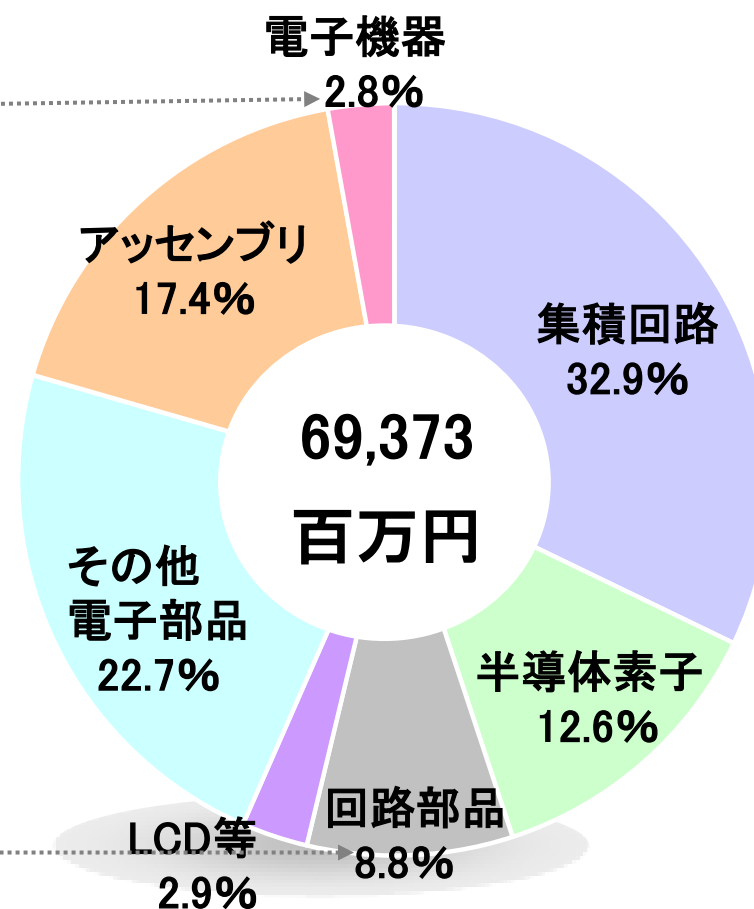


品種別売上高構成

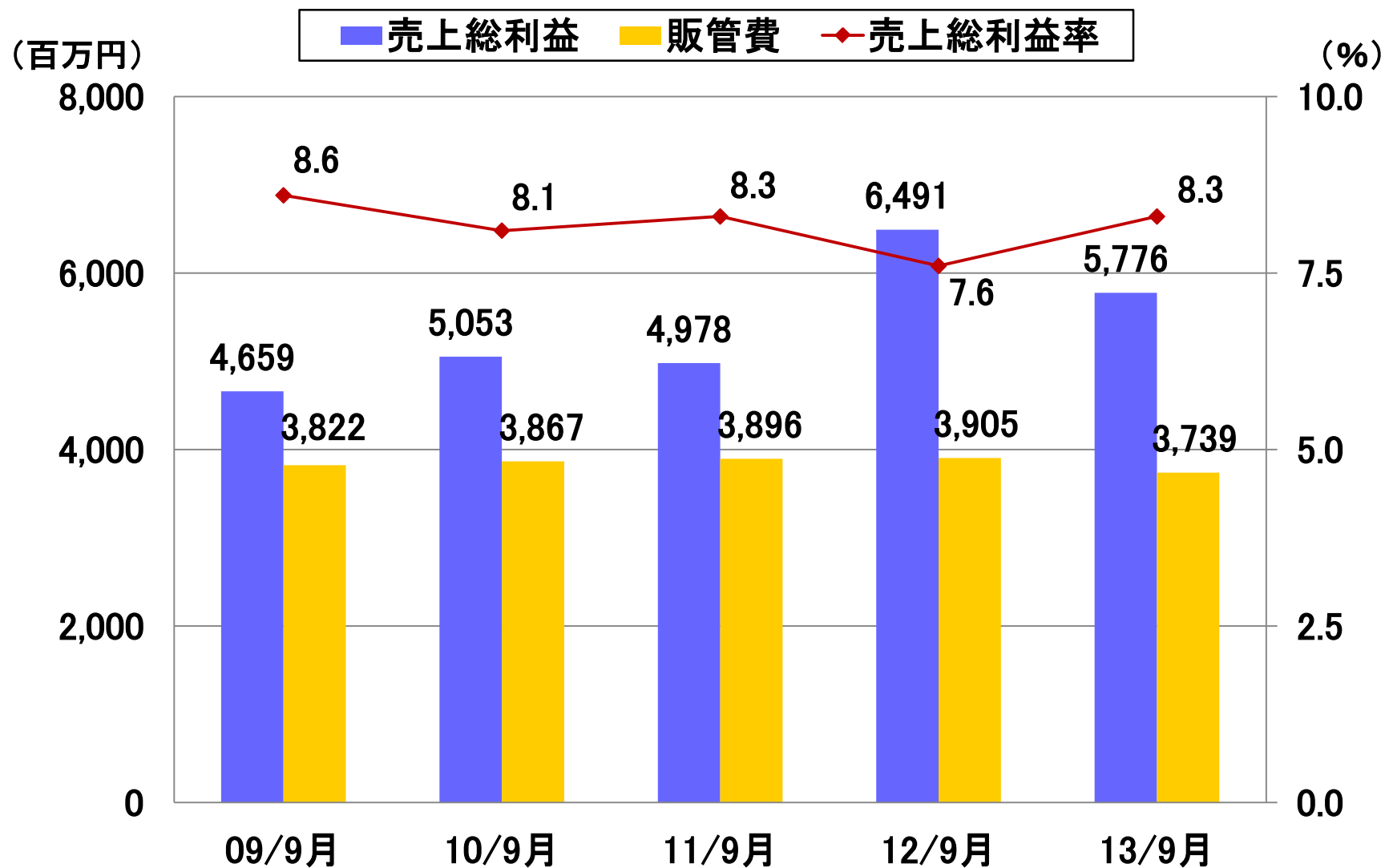
【2013年3月期第2四半期】



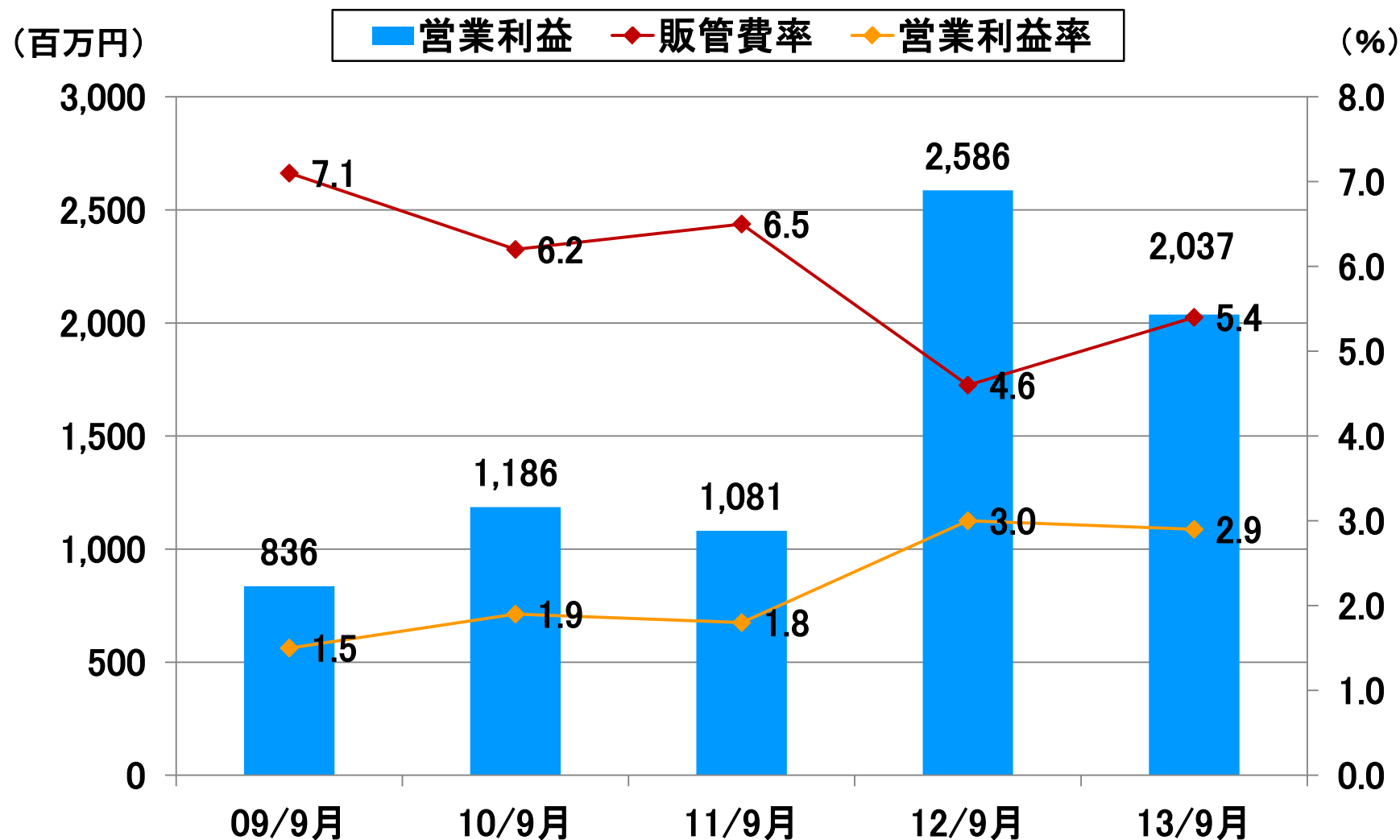
【2014年3月期第2四半期】



売上総利益／売上総利益率／販管費



営業利益／売上高営業利益率



営業外損益・特別損益等の主な増減要因(増減分析)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額
営業利益	2,586	2,037	△548
営業外損益	△38	△20	△18
経常利益	2,547	2,017	△529
特別利益	11	16	5
特別損失	109	10	△98
内、投資有価証券評価損	70	0	△70
損害賠償費用	0	6	6
税金等調整前四半期純利益	2,449	2,024	△425
法人税等	859	699	△159
少数株主利益	14	17	3
四半期純利益	1,576	1,257	△319

要約貸借対照表1

(百万円)

	2013年3月期 期末	2014年3月期 第2四半期	増減額
資産合計	79,752	80,753	1,001
流動資産	73,183	73,699	516
内、現金及び預金	22,341	20,116	△2,225
受取手形及び売掛金	32,309	34,243	1,933
たな卸資産	12,004	12,527	523
固定資産	6,569	7,054	484
内、投資有価証券	2,565	3,028	463
繰延税金資産	26	26	△0

要約貸借対照表2

	2013年3月期 期末	2014年3月期 第2四半期	増減額	(百万円)
負債合計	29,439	28,727	△711	
流動負債	24,934	23,989	△945	
内、支払手形及び買掛金	19,882	19,056	△825	
短期借入金	1,396	1,786	389	
固定負債	4,504	4,738	233	
長期借入金	3,000	3,000	0	

純資産合計	50,312	52,026	1,713	
内、資本金及び資本剰余金	19,102	19,102	0	
利益剰余金	32,306	33,287	981	
自己資本比率	62.5%	63.9%		

キャッシュ・フロー

(百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△655	△2,136	△1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△390	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369	△14	354
現金及び現金同等物の期末残高	16,507	19,774	3,266



事業譲渡に関するご説明

日本テキサス・インスツルメンツの販売代理店事業譲渡について

【事業譲渡の概要】

日本テキサス・インスツルメンツの代理店事業を株式会社ケイティーエルに譲渡する契約を締結致しました。(事業譲渡期日：平成26年1月6日)

＜本事業の経営成績(2013年3月期)＞

売上高 : 11,755百万円

営業利益 : 348百万円

経常利益 : 363百万円

債権残高 : 3,754百万円(9月30日時点)

※平成25年9月30日 東京証券取引所にて適時開示済。

半導体業界の再編が進み、特に外国産半導体については、日本法人が代理店の数を絞り込むという動向の中で、今回の譲渡が発生致しました。



今後の施策



今後の施策

1 ルネサス・エレクトロニクスとのビジネスについて

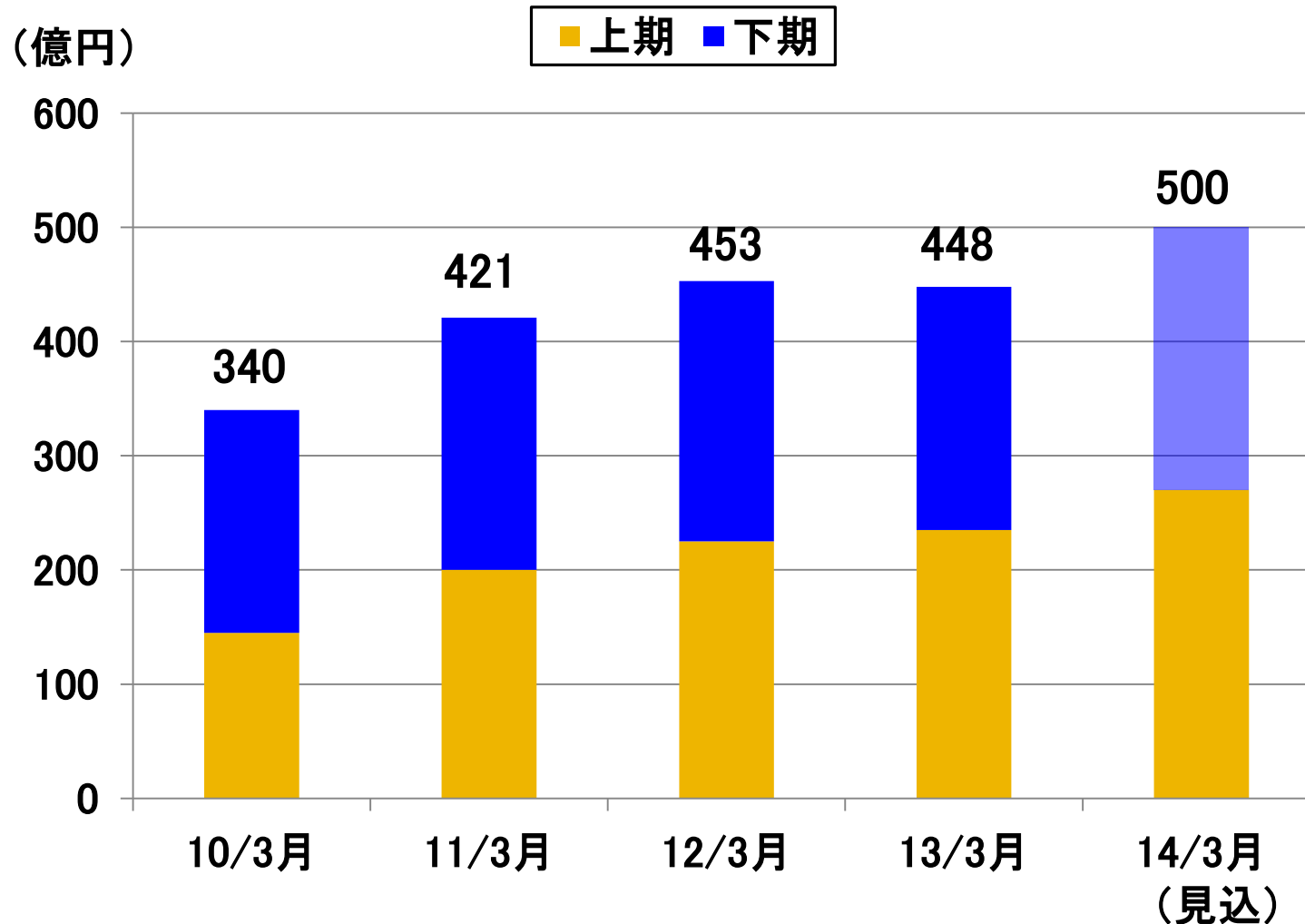
2 自動車電装関連ビジネスへの取組について

3 Shinko Assembly Chinaの状況について

4 娯楽機器事業の現状と見通し

1.ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて①

【売上推移】



今年度は車載顧客向けを中心に好調を維持。

1.ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて②

【ルネサス構造改革への対応】

<ルネサス方針①>

マイコン・SOCを軸に、自動車電装分野に経営資源を集中。

➡ 従来より当社の得意とする分野。
売上300億円を目標として、積極拡販を実施。

<ルネサス方針②>

不採算事業からの撤退、製造拠点集約の加速。

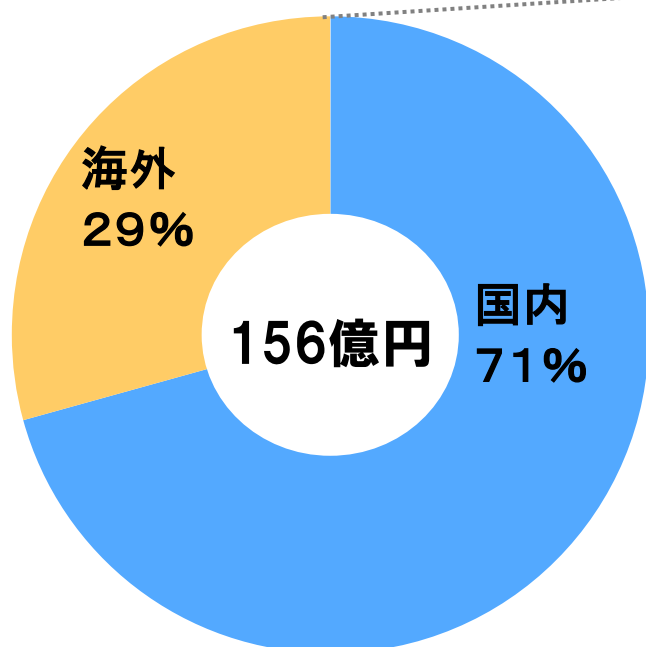
◆集約ライン
甲府6インチ、8インチ
鶴岡5インチ、12インチ
滋賀8インチ
◆化合物デバイス事業縮小

➡ アジア系半導体メーカーを中心に製品ラインナップを補完し、
集約対象品と同等品の供給を継続。
新規顧客／商権獲得に向けた活動を展開。

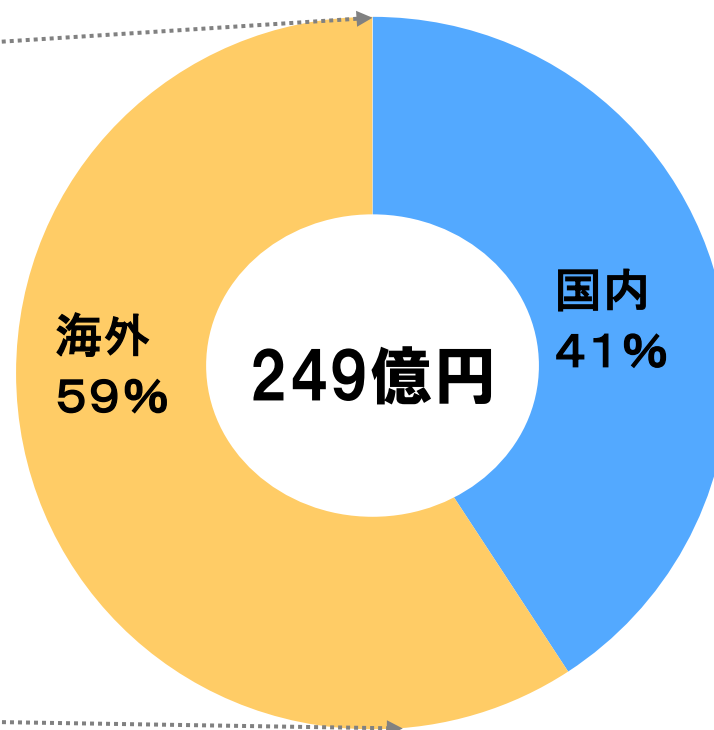
1.ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて③

【自動車電装関連顧客向け 売上実績見込】

＜2013年3月期実績＞



＜2014年3月期見込＞



今期は北米およびASEAN市場向けが好調
大手電装顧客へのデザイン・インを多数獲得



前年度比60%増の見込

2.自動車電装ビジネスへの取組について①

【電装関連顧客向けへの拡販体制】

当社顧客＝電装メーカー

Application

Powertrain

シャーシ
ステアリング

エアバッグ

ボディ

カーオーディオ

ダッシュ
ボード

新光商事 & 関連会社

System Solution

トラクション
モーター

映像認識

Ethernet &
Network

Door Zone

オーディオ基板

Graphic
Cluster

デバイスサプライヤ

Device Solution

RENESAS

TDK

京セラ

Xilinx

molex

SII

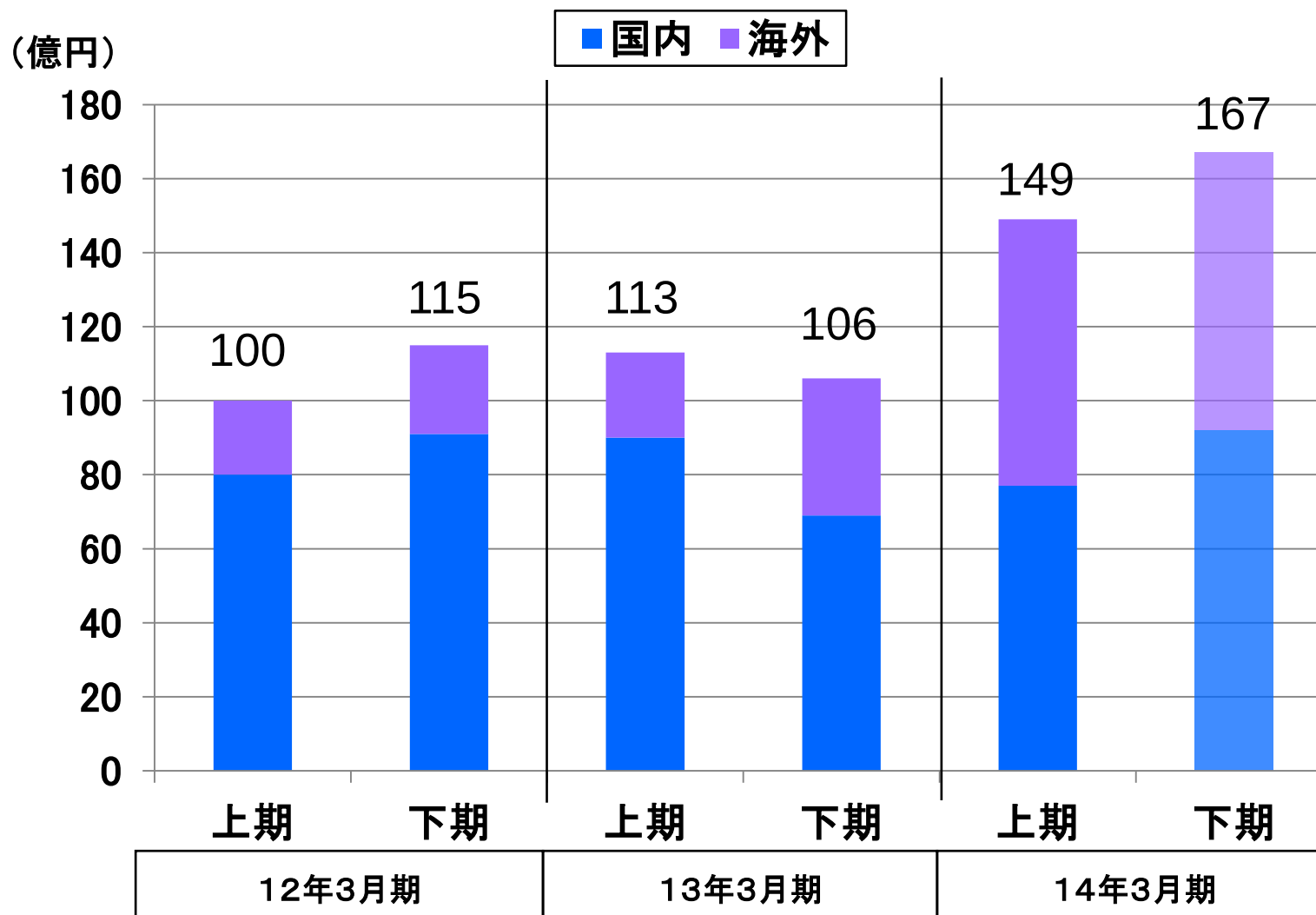
NIPPON SEIKI

NEC/TOKIN

DDK

2.自動車電装ビジネスへの取組について②

【電装関連顧客向け売上推移】



4年以内に売上400億円を目指します。

3. Shinko Assembly Chinaの状況について①

【EMS事業強化への取組】

～多様な商材のアッセンブリ、組立への対応～

「より競争力の高い自社工場へ、 設備拡充計画」

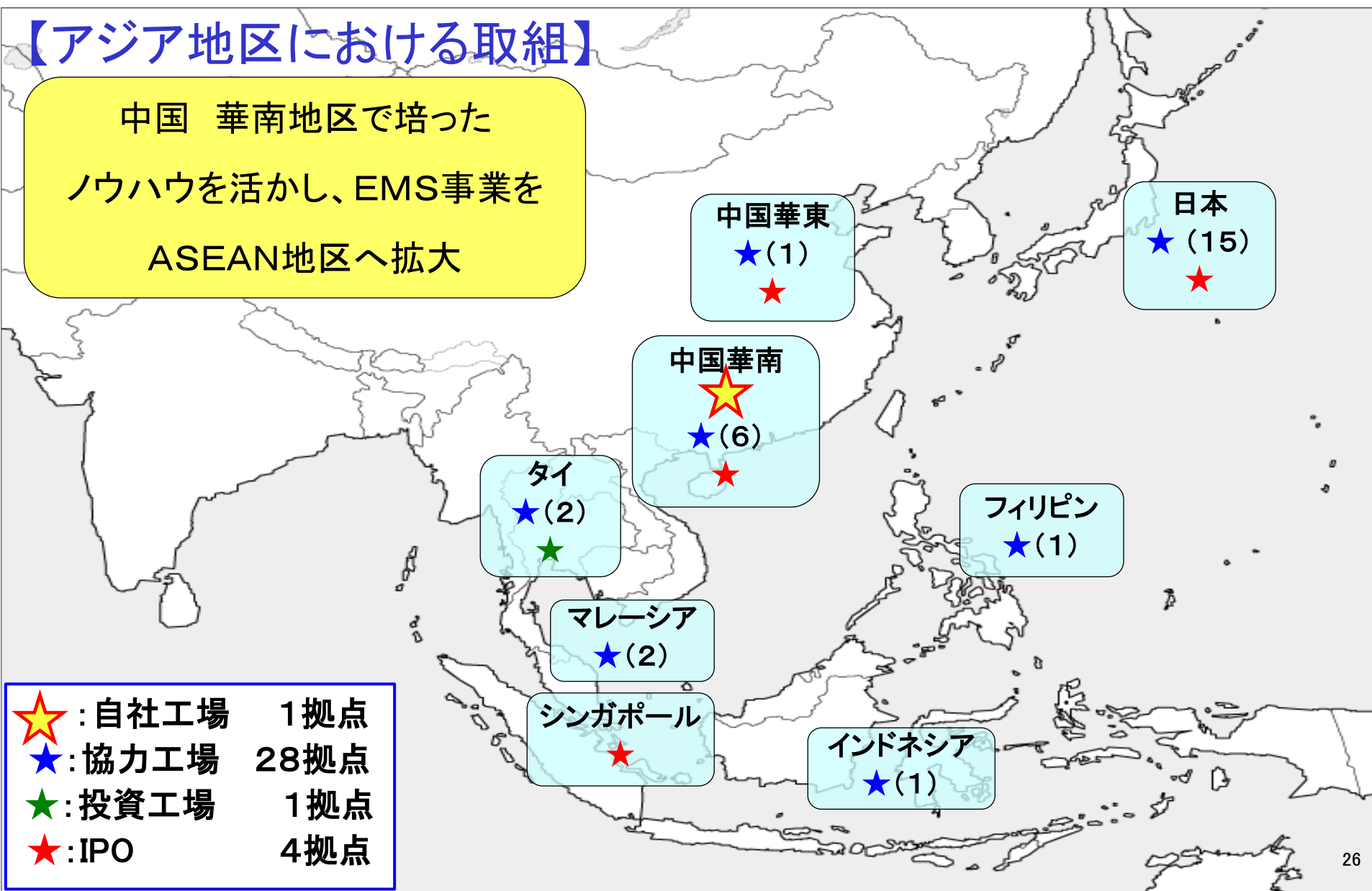
- ・実装設備の投資により製造キャパ増強、生産効率強化
- ・内外装を刷新し、5Sを実現した工場へ
- ・QCDSSを充実させた新光商事のアンテナ工場へ進化させる



3. Shinko Assembly Chinaの状況について②

【アジア地区における取組】

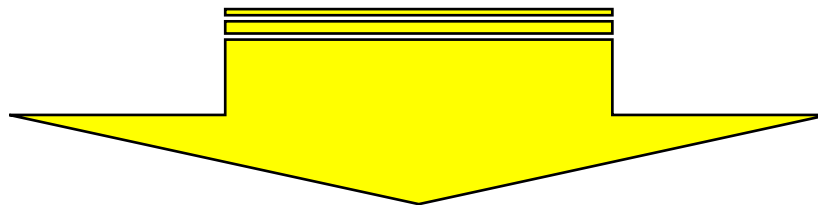
中国 華南地区で培った
ノウハウを活かし、EMS事業を
ASEAN地区へ拡大



4. 娯楽機器事業の現状と見通し①

【業界を取り巻く環境】

- ・パチンコとパチスロの合計ではやや復調傾向。
- ・パチンコは店舗数、設置台数、参加人口いずれも前年比微減。
- ・小型店舗の淘汰進む：一店舗あたりの設置台数は増加傾向。

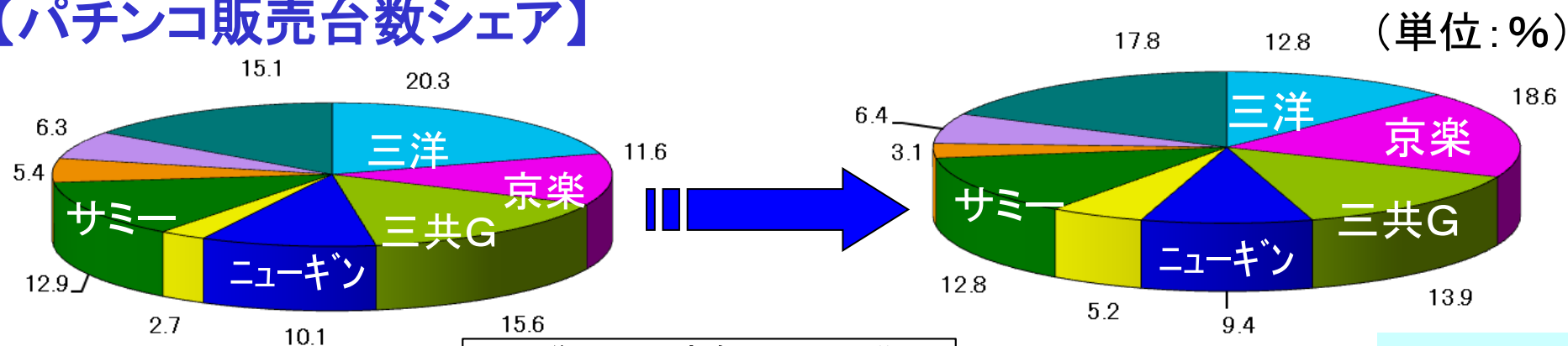


各社生き残りをかけた戦略を展開

- ・総合アミューズメント企業化
- ・台メーカーのM & A加速

4. 娯楽機器事業の現状と見通し②

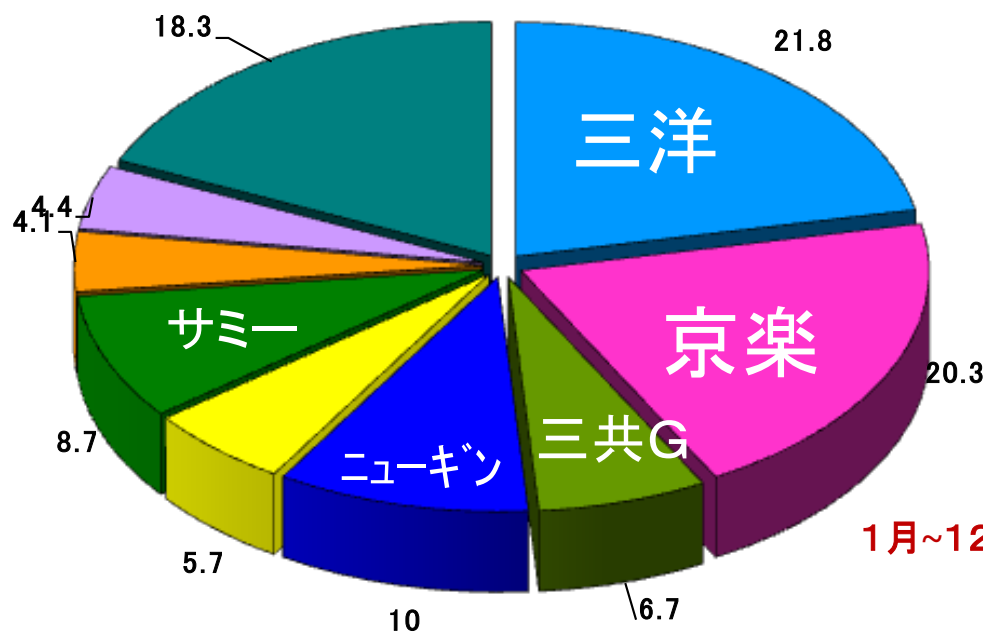
【パチンコ販売台数シェア】



2010年度

2011年度

2012年度



※各社決算期に基づき算出
1月~12月で区切った出荷台数とは異なります

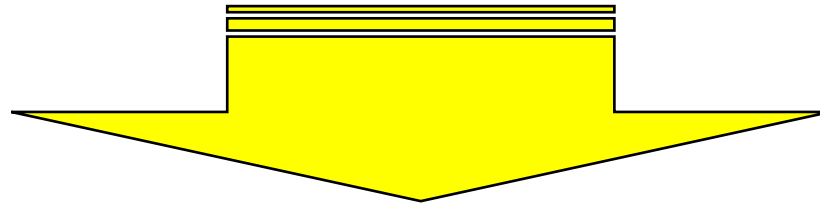
出典: 矢野経済研究所

4. 娯楽機器事業の現状と見通し③

【当社の2013年度見通し】

◆上期実績：期初計画は達成。前年同期比ではマイナス。

- ・ 当社顧客は好調を維持。
- ・ リユースの促進により、新規部材購入は減少。



**通期では前年度比でマイナスを見込む。
新規商材の拡販により、販売額増加を図る。**



2014年3月期の見通し

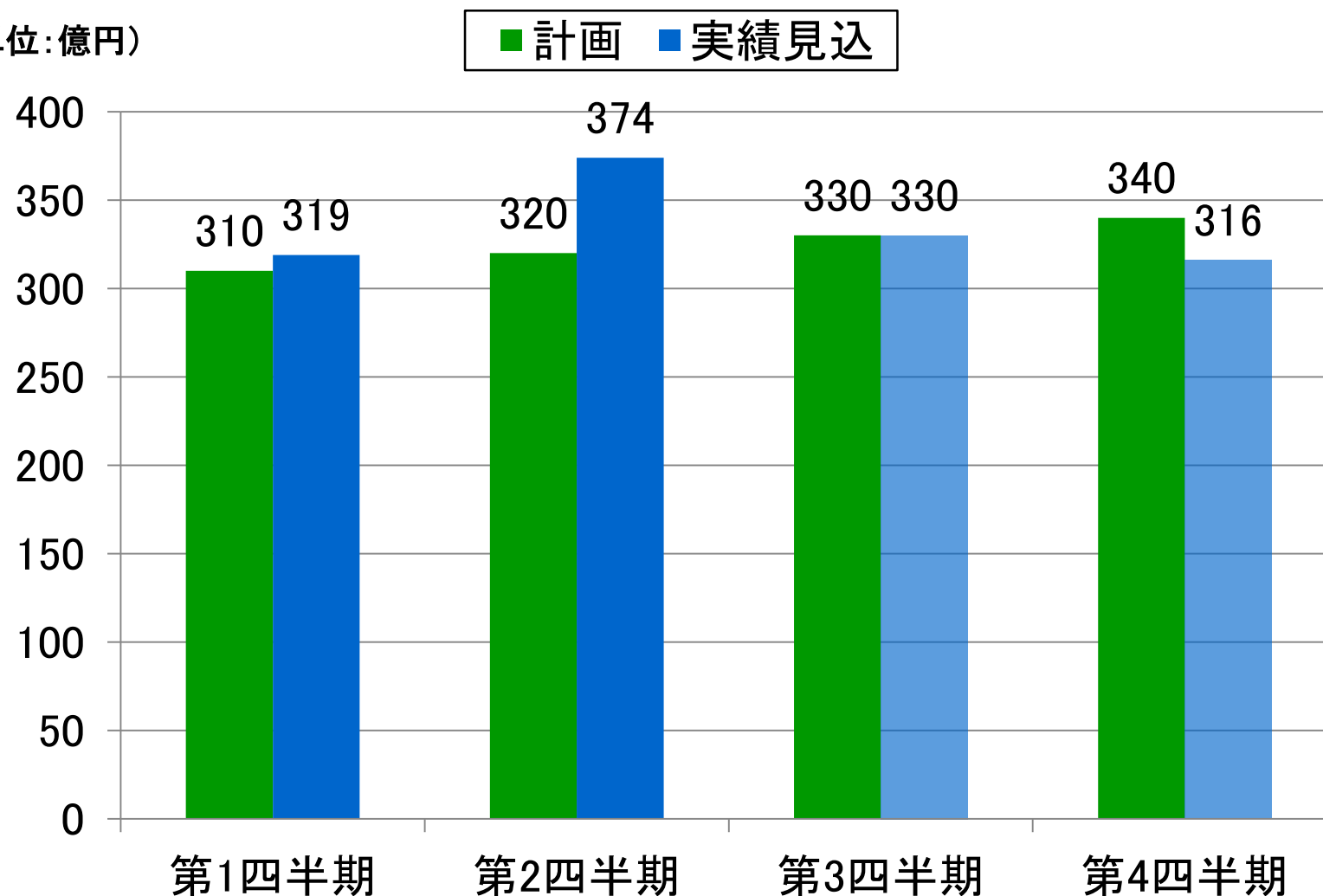
通期業績見通し

(百万円)

	2014年3月期 第2四半期実績	2014年3月期 下期見通し	2014年3月期 通期見通し	2014年3月期 期初予想	増減額 (期初予想比)
売上高	69,373	64,627	134,000	130,000	4,000
営業利益	2,037	1,163	3,200	3,000	200
経常利益	2,017	1,183	3,200	3,000	200
当期純利益	1,257	843	2,100	1,800	300

通期業績見通し(四半期別売上高)

(単位:億円)



株主還元について

● 1株当たり配当金

	2013年3月期 実績	2014年3月期 (予想)
第2四半期	15円00銭	15円00銭
期末	15円00銭	15円00銭(予定)
年間	30円00銭	30円00銭(予定)

ご清聴ありがとうございました。

新光商事株式会社

取締役 正木 輝

経営企画部 企画課 沖田 和夫

Tel: 03-6361-8062

Fax: 03-5437-8481

E-mail: t-masaki@st.shinko-sj.co.jp

okita@st.shinko-sj.co.jp

住所: 〒141-8540

東京都品川区大崎1-2-2

アートビレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <http://www.shinko-sj.co.jp>